

生徒のレポート

レポート

① 題

新型コロナ 港区の現状と改善への取り組み方

② 問題背景（なぜそうなるのか）

港区の問題の原因として、大きく2つのことが見つけられた。1つ目は、昼夜人口である。昼間人口が約94万人、夜間人口が約24万人となった。そして昼夜間人口比率は約390%と、昼間の人口がとてつもないのかが分かる。昼間人口を多く占めるのは通勤通学になることも後の結果から分かった。昼間人口の80%は区外になっていたため、他の感染者の多い区などから、港区へ感染源を運んでくるリスクも高くなる。また、上位に神奈川県も入っていた。神奈川も東京同様、感染者が多い県であるため、港区の感染者が多い理由の1つだといえる。通勤通学の人の移動力の多さが、港区の感染者が多いことと関連していた。2つ目は、飲食店の多さだ。港区の飲食サービスは3064社となっていた。これは都内でも多い数となっている。池袋などの繁華街が有名な豊島区でも1665社となっているため、港区がとてつもないのかが分かる。コロナウイルスが広まりやすい飲食の場が多いことが、港区の感染者が多いことと関連しているといえる。この2つが主に港区の感染者を増

③ やった原因であると思う。 「自分」や「社会」は何をすべきだろうか？

港区は、通勤通学による人の移動が多いから、通勤ラッシュの電車を回避するためにテレワークを積極的に導入したり、時差通学、時差通勤をしばらくは続けていく必要があると思う。また、電車を使わなくても移動ができるのなら、なるべく他の交通機関を利用すべきだと思う。もう1つの原因の飲食業は、三密を避けるために、テラス席を設けるのがいいと思う。外食を禁止してしまうと、業者は儲からないから、感染リスクが比較的低い外で食事をとってもらうために場所があるならテラス席を設けてほしい。

生徒のレポート

レポート

① 題

「港区」の人口あたりの陽性者数が多い理由。

② 問題背景（なぜそうなるのか）

港区は昼間人口が94万人と23区の中で1番多く夜間人口との差が60万人ある。昼間人口が多くなる理由として考えられるのは、企業数が24121社、飲食店数が3064社と都内で1位の数を誇っており、それに伴って働いている人数も増加するからだと思う。港区の従業員数は99万人、新宿区は65万人で34万人の差がある。また、東京タワーやお台場、六本木ヒルズなどの観光施設や繁華街があり人が多く集まることで濃厚接触が生じやすいことも理由の1つだと思った。港区の平均所得は1217万円で全国トップであり富裕層が多く、海外赴任や海外旅行からの帰国者も多い。そのため、ウイルスを持った人が他の人へウイルスを媒介させてしまっている可能性も少なくないと思う。

③ 「自分」や「社会」は何をすべきだろうか？

「自分」がもし感染していて無症状の場合人に移してしまう危険を少しでも減らす為にマスクを着用する。手であたり身の周りの消毒をきちんとする。人の多い所に行かない、なび3つの密を避けて外出する。手をちゃんと洗う。顔をゴゴイタ触らない。「社会」では、テレワークであつた、わざわざ会社に行く必要は無いと思うのでリモートで行う。通勤時間をあつしてラッシュにあつないようにする。接客業などの場合はお客さんとの間にビニールフィルムを設置する。机、椅子などの間隔も空ける。検温をする。消毒液を設置する。なるべく直接触れるような動作を減らす。出張を減らす。不要不急の会議を減らす。営業時間の短縮。など。

生徒のレポート

レポート

① 題

ブロック★コロナ in 港区

② 問題背景 (なぜそうなるのか)

港区は、夜間人口に対する昼間人口が4倍近く多く、これは、通勤通学人口が多いことを意味していると考えた。実際、通勤通学人口は都内1位であり、人から人の感染が主となるコロナウィルスの感染拡大に大きく関わっていることがわかった。次に港区にある企業について、港区にある企業数は、都内で最も多く、新宿区よりも2万近くも多い企業数であることがわかった。中でも飲食店の数が多く、マスクを外して近距離で接触する時間が必然的に長くなるお店が多いことがコロナ感染拡大につながっていることがわかった。また、(文)企業が多い数があるため、最初に記した、通勤通学人口(流動人口)に大きく関わっていることがわかる。そして、新宿区や渋谷区などの都心部である区と隣接しているため、20代~50代までのコロナ感染拡大の主となる年齢層の人口が、港区には多く出入りしていることも考えられる。以上のことから、港区には人の出入りが大変多く、人口あたりの陽性者数が多くなっている最も大きな要因であると考えた。

→大企業だけでなく、大学や高校なども多い。(補)

③ 「自分」や「社会」は何をすべきだろうか？

私は、港区に陽性者数が多い理由を通勤通学人口が多いからだと考えた。そこで、最も効果的に陽性者数を減らすには、昼間人口を減らすことが大切だと考える。そこで、テレワークや時差出勤などの対策を行うことが感染対策として最も良いと考える。また、コロナを機に全面テレワークに変更することや、オフィス自体を都心から離れた場所に移動するなど、各企業ごとに工夫できる範囲でコロナ対策をすることも大切だと考える。実際、オフィスの移動や撤廃にソフトバンクに成功する企業もあるという情報も耳にしたことがある。最後に、私たち1人1人が「絶対に感染しない、拡大させない」という意識を常にもちつづけることが、最も効果のある感染対策であると私は考える。

生徒のレポート

レポート

① 題

どうして港区は人口が少なくないのに、感染者数が多いのか？

② 問題背景（なぜそうなるのか）

まず、大きな理由として、企業が多いことが挙げられる。港区の企業数は24121社と東京No.1という結果が出た。企業が多いということは、人が沢山通勤に来ていることが分かる。港区は、通勤、通学者の人口（昼間人口）が東京で1位という結果だった。さらに、周りの区が人口が多く、1位の世田谷区などがあるため、移動してウィルスも移動してくるため、感染者数が増えたのではないのかと思った。もう一つの理由として、観光地が大きいことが挙げられる。港区内だけでなく、周りの渋谷区、中央区などは、買い物出来る場所が多いので、人が集まるのではないかと考える。港区は、宿泊施設や飲食店の数が3064件で第2位という結果が出た。また、卸売業や小売業の会社も多く、4222件で第2位だった。これらのことから、会社や学校、さらに観光地、お店などが多いという点から人の出入りが多いので、人口が少なくても感染者数が多いのが、問題点である。

③ 「自分」や「社会」は何をすべきだろうか？

私は、港区が感染者数を減らすために、会社や学校はテレワークやオンライン授業に切り替えるべきだと考える。これを行うことによって、ある程度の人々の出入りは緩和されるのではないかなと思う。さらに、飲食店がウーバーイーツなどの配達を利用することで、飲食店以外の店は通販などを利用することで、旅行に行けなかった人達が港区でのお土産も楽しめるし、移動することがないので、感染者数が減るのではないかと考える。

- ★ 入店規制
- ★ 開店はやめる
- ★ ウーバーイーツなど使う

生徒のレポート

レポート

① 題

港区の注目すべき3つのポイント

② 問題背景（なぜそうなるのか）

港区の人口に対して陽性者が多い訳は主に3つあると考えます。1つ目は、昼間人口が東京都で1位であり、昼に約9万人が集まることから原因と考えられる。港区は昼間に通勤・通学などを理由に東京都で一番人が集まる地だ。また、区内では比較的約人口が少なく、昼夜間人口は約39%となっている。このことも人口に対して陽性者が多い訳だと思ふ。2つ目は、東京都の中で港区に企業が一番多いことが原因と考えられる。港区は約2900社の企業があり、宿泊業・飲食サービス業に着目すると、約300社ある。また、人口に対して陽性者が多い傾向にある。新宿区約350社、渋谷区250社、逆に傾向が練馬区では170社である。これらのことから、宿泊業・飲食サービス業、陽性者の数は関連していると考えられる。すなわち、レストランなどの場で感染が拡大していると考えられる。3つ目は、港区には人が多く集まる観光地がたくさんあることが原因と考えられる。区内で休日に公共交通機関に訪れたランキングを調べると、六本木ヒルズ（5位）、お台場（16位）、東京タワー（18位）、他にも東京ミッドタウンなどがある。また、特に六本木ヒルズは大人の街としてバー・セキ・バグラーが多いと考えられ、そのような理由で港区の観光地で感染が拡大していると思う。これらの3つは、港区の人口に対して陽性者が多いという傾向になっていると考えた。

③ 「自分」や「社会」は何をすべきだろうか？

港区において、新型コロナウイルスの感染を拡大しないために②の主に3つの原因に沿って対策を考える。1つ目の原因の対策は、密を避けるために時差出勤する。仕事帰りの飲み会と食事を避けるために17時くらいには仕事を終わらせる。他にも、港区への通勤者の流入者1位・2位はどちらも神奈川県なので、都外からの出勤を禁止すべきだと思う。2つ目の原因の対策は、デリバリーを積極的に活用するためには政府がデリバリー食品を割引して、お客様にデリバリーを利用しやすくすることが重要だと思う。また、レストランの営業禁止をいけなく従業員が約9万人が失業してしまう。港区の10%の従業員が失業してしまうので営業は禁止しないべきだと思う。3つ目の原因の対策は、区内の観光地へ行くことを避けるべきだと思う。